

多機関・多職種の連携と協働のための合同セミナー（資源開発編） 実施要項

1 目的

核家族化と少子化の進展により、地域・家庭・職場でのつながりや支え合いの基盤が弱まっています。また、複数の課題を抱える個人や世帯が増加し、これらが複雑に絡み合っています。このような状況において、社会福祉法人や多機関・多職種の専門職には、「社会資源の開発」にまで視点を広げた実践が求められています。

本研修会は、相談支援に携わる専門職の知識や技術の向上、関係機関及び多様な専門職の連携強化とネットワークづくりを目的としています。令和6年度は全4回の開催を予定しており、最終回は「社会資源の開発」をテーマに研修を行います。

2 主催

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

3 共催（予定）

奥州市社会福祉法人連絡会

4 日時

令和7年2月27日（木）午後1時30分～4時30分（受付：午後1時～）

5 会場

奥州市総合福祉センター研修室
（住所：奥州市水沢南町5-12 TEL：0197-25-6158）

6 参加対象

- (1) 市内の高齢、障がい、子ども、困窮分野の包括的相談支援事業者
- (2) 奥州市社会福祉法人連絡会に所属する法人の職員等
- (3) 奥州市又は奥州市社会福祉協議会で相談支援や地域づくり業務に携わる職員

7 内容

- (1) 開会行事（13:30～13:40）
- (2) 研修Ⅰ（13:40～14:10）
テーマ：～共に築く地域の未来～重層的支援体制の構築と社会福祉法人や専門職への期待【仮】
講師：奥州市福祉部福祉課地域福祉係上席主任 小野 大祐 氏
- (3) 研修Ⅱ（14:10～16:30）途中休憩を挟み、研修Ⅱの終了後に閉会します。
テーマ：重層的支援体制整備事業における地域づくりと社会資源の開発に関する演習、事例紹介等
講師：岩手県立大学社会福祉学部会福祉学科 准教授 平坂 義則 氏

【略歴】

最終学歴：日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科 福祉マネジメント専攻修士
職歴：平成6年に名古屋市社会福祉協議会に入職し、約30年間勤務。区社会福祉協議会では、コミュニティワークや勤労者のボランティア支援、区社協活動計画の策定支援などを担当。また、地域包括支援センターでは、総合相談をはじめ地域包括ケアの推進を図り、成年後見の専門機関では、権利擁護・成年後見（市民後見・法人後見の推進）の基盤を整備。生活困窮者自立支援機関ではセンター長（主任相談支援員）や区社協事務局長等を歴任した。
令和5年10月に岩手県立大学に着任。主な研究は、複合的な課題を抱えた世帯や制度のはざまの問題に対する包括的な支援体制、包括的な支援体制構築に向けた多様な協働プロセス等。

8 申込み等

令和7年2月17日（月）までに別紙様式又は申込フォーム（下記QRコード）にて、事務局へ申込み願います。

9 事務局

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会総務財政課
担当 主任多機関協働推進員：岩渕 達也 / 多機関協働推進員：及川 和代
〒023-0851 奥州市水沢南町5番12号 電話：25-6158 Fax：25-6690



【問合せ先：奥州市多機関協働受付窓口】

開設場所：奥州市役所2階 市福祉部福祉課内（〒023-0851 奥州市水沢大手町一丁目1番地）
開設時間：年末年始や祝祭日を除く平日午前9時から午後4時まで
電話：34-2061（内線1999）